

寿地区町会別人口の推移 (H22.10.1 ⇒ H29.04.01)

平成22年10月1日現在

平成29年4月1日現在

Table with columns: 町会名, 人口 (男, 女), 小学生 (男, 女), 中学生 (男, 女), 高齢化率. Lists 16 municipalities and their respective data.

Table with columns: 町会名, 人口 (男, 女), 小学生 (男, 女), 中学生 (男, 女), 高齢化率. Lists 16 municipalities and their respective data.

※高齢化率：65歳以上の人口割合 ※区分については小学生（7歳～12歳）、中学生（13歳～15歳）として計算



世帯数 5,979戸
人口 14,417人
(平成29.5.1現在)

寿地区の町会別現況報告

寿地区の最新の町会別の現況を調査しましたので、ご報告いたします。

寿地区の十二町会別年齢別人口数及び高齢化率等の現況とともに七年前との増減につきましてでもあわせて調査しましたので、ご自分の町会などご確認ください。

寿地区は上表の上段赤木町会から竹淵町会までが古くからある町会で住宅団地の造成により寿田町会が昭和三十八年、豊町町会が昭和四十年、竹原町会が平成元年にそれぞれ発足しました。

また、平成十二年には新興住宅地の造成により寿田川町会が新たに発足しております。現在の人口と七年前の人口を比較するとともに、高齢化率などを比較してみるとそれぞれの増減がよくわかると思います。

是非ご一読をお願いします。
【館報委員】 百瀬 肇



平成29年度公民館委員紹介

寿公民館運営委員

委員長 遠藤 勝弘 (町会連合会長)

副委員長 小椋 広明 (町内公民館長会会長)

会計 撫養 謙一 (町会連合会会計)

委員

古屋 賢司 (赤木町会会長)

清水 芳春 (小池町会会長)

神澤 勝則 (百瀬町会会長)

白川 延子 (白川町会会長)

中島 紀夫 (白姫町会会長)

手塚 幸利 (上瀬黒町会会長)

長澤 厚 (竹淵町会会長)

朝比奈忠男 (豊町町会会長)

久保田幸康 (寿田町会会長)

鈴木 茂雄 (竹原町会会長)

望月 敏行 (赤木公民館長)

青木 敏和 (小池公民館長)

三澤 謙一 (百瀬公民館長)

平林 芳明 (白川公民館長)

牧野真由美 (図書委員長)

洞澤 喬 (視聴覚委員長)

赤羽 春子 (健康づくり推進員会長)

中山 自子 (食生活改善推進協議会会長)

久保田陽介 (寿体育協合理事長)

安江 拓也 (寿小PTA会長)

武井 秀樹 (寿小PTA副会長)

曾根原紀子 (寿小PTA副会長)

木村 淳一 (筑摩野中PTA会長)

五味 富士 (寿子ども会育成会会長)

御子柴 宏 (寿史談会会長)

山下 治夫 (交通安全協会寿支部長)

高野 実 (消防一六分団長)

水谷 直人 (村井・寿交番所長)

伊藤 尚子 (赤木町会)

清水 壽雄 (小池町会)

萩原 寛之 (百瀬町会)

百瀬 肇 (白川町会)

小林 光由 (白姫町会)

西澤 俊彦 (上瀬黒町会)

藤田 三雄 (下瀬黒町会)

上平 貴明 (竹淵町会)

下平 圭子 (豊町町会)

菅田 金幸 (寿田町町会)

山田まゆみ (竹原町町会)

松崎 晴美 (寿田川町会)

公民館長 青木 茂人

公民館長補佐 吉澤 拓

公民館主事 浅香 一輝

嘱託 丸山 安代



わがまちこの人

上瀬黒町会には映画同好会という会があります。その創始者であります草間良忠さんを紹介します。

Q 映画同好会はどのような活動をしているのでしょうか？

地域活性化の一助とするべく年に2回公民館で地域の方と協力して映画上映と講演を開催しています。

Q そもそもそのキッカケは？

7年程前に当時の町会長と子供からお年寄りまで集まれる場を創れないかという話し合いの中で、子供の頃「王徳寺境内や公民館での映画は楽しかった」それではとなった訳です。そして、5人で会をスタートしました。講演会は、町会の中にはいろんな経験をお持ちの方がいます。そんな方を地域の人に知っていただきたく同時開催しています。

Q 今までの内容を少し紹介してください。

講演会では、オランダでの生活、エベレスト登高といった経験のある方、前回は「42年間の消防人生」と題して講演をしていただき貴重な経験を聞かせていただきました。映画は、日本映画史上に残る名画を中心に選

んでいます。『黒部の太陽』、『火垂るの墓』、『南極物語』とかです。『二十四の瞳』は子供もお年寄りも誰一人帰らず魅入っていたことが印象に残っています。Q 草間さん自身の映画への思いについてお聞かせください。



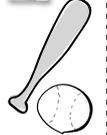
見ながらのハラハラ、ドキドキ感がたまりません。特に学生の時に見た『天脱走』のオートバイで

脱走するシーンは私を虜にしました。また、『太陽がいっぱい』を見た時は、日本と外国の生活の違いにショックを感じたことを覚えています。そんなことから映画に引き込まれていきました。最後にレトロな映画ポスターを持っているとのことを見せていただきました。石原裕次郎ファンならば喉から手が出る程欲しくなるものばかりです。

「今でも時々映画館に行きます。テレビよりずっと迫力あるから」と子供の様に熱く語る目が魅力的な人だと感じました。

【館報委員 西澤 俊彦】

3町会 野球大会



4月16日(日)、並柳運動広場で、3町会野球大会(紅葉杯)が開催されました。この大会は、30年以上前にスタート。寿地区下瀬黒町会・庄内地区並柳町会・庄内地区並柳団地の隣接3町会が、災害時の助け合いを目的にスポーツ交流を継続し、現在に至っています。昭和63年に下瀬黒町会にサザン並柳団地が造成された頃から、女性、子供も参加出来るよう秋にソフトボール大会も実施しています。



運動広場は、下瀬黒町会北端の並柳町会内に位置し、町会の子供達が通う並柳小学校の通学路沿いで、馴染みのある場所です。

当日は、晴天に恵まれ、真っ白いアルプスの山々や桜でピンク色に染まった

弘法山が見渡せる絶好のロケーションのもと、選手やその家族、関係者など50余名が参加しました。

9時から、幹事町会の挨拶で開会式が行われ、前年優勝の並柳団地町会から優勝杯が返還されました。続いて、ルール、試合時間などを確認し、試合開始です。

試合は3チーム総当たりで各2試合ずつ合計3試合が行われ、10代の中学生から60代まで幅広い層の選手が参加。投手戦あり、打撃戦ありの熱戦が繰り広げられました。特大の本塁打やファインプレーに観衆も拍手で応えます。

試合終了後に表彰式が行われ、選手層の厚い団地町会が2連勝で優勝。見事、連覇を達成しました。



最後は、グラウンドの端で懇親会が行われ、バーベキューなどで祝杯、苦杯を挙げ、親睦・交流を深め、秋のソフトボールでの再会を誓いました。

4月より寿地区地域づくりセンターでお世話になっております中田さおりと申します。寿地区の皆さまが安心していきいきと暮らせるよう、町会や地域の皆さまと共に地域づくりに取り組んで参りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



寿地区地域づくりセンター 中田 さおり

4月1日付の人事異動により、寿地区地域づくりセンターにお世話になることになりました吉澤拓です。芳川村井町で生まれ筑摩野中学校を卒業しました。地区を歩くと宅地化が進んでいる一方、昔のままの場所が残っていて懐かしく思いました。寿地区は地域づくり協議会を中心に地域づくりには活発に取り組んでいると聞いてきました。皆様と一緒に地区の発展



寿地区地域づくりセンター長 吉澤 拓

新職員挨拶

【館報委員 藤田 三雄】